

## 2.2 安全で快適な道路空間の創出と保全の推進について

【提案・要望先】総務省・国土交通省

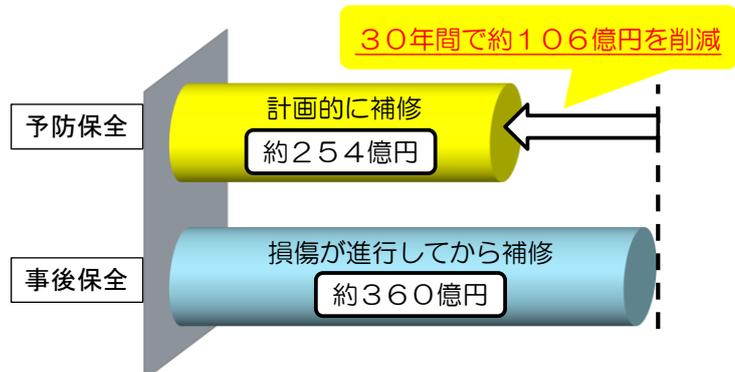
～提案・要望事項～

- **舗装や小規模構造物の点検・補修を確実に実施し、安全で快適な道路空間の創出と保全を推進するため、十分な財源の確保すること。また、公共施設等適正管理推進事業債（以下、公適債）の制度を拡充すること。**

### 【現状】

#### ◆舗装補修の点検・補修

○市内の幹線道路等（約 323km）について、舗装面の定期的な調査を行い、損傷が進行した箇所の早期修繕を行うとともに、併せて損傷が進行する前に計画的に補修する予防保全の概念を取り入れることで、30年間で約106億円縮減を見込む。



#### ◆小規模構造物の点検・補修

○道路照明灯や道路標識などの小規模構造物の維持管理方針を定めた個別施設計画を平成29年度（2017年度）に策定し、計画的な点検・補修を実施。



基部の腐食により倒壊した道路照明灯

### 【課題】

- **老朽化**が進行する道路施設の早期対応と施設の長寿命化や維持管理費の平準化・将来の補修費用を削減するために、**財源の確保**が必要。
- **公適債**は、適用条件の拡大や時限措置の延長・撤廃など、**柔軟な措置**が必要。

舗装補修では、交付金・公適債の適用条件が限定

＜交付金＞

- ・内示額が不足
- ・適用は基層以深に限定

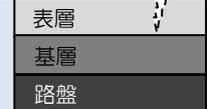
＜公適債＞

- ・適用は表層の補修に限定
- ・令和3年度までの時限措置

舗装面



舗装面



- ・老朽化が進行する道路施設の早期対応に、財源の確保が必要
- ・公適債の適用条件の拡大や時限措置の延長・撤廃など、柔軟な措置が必要

#### ◆事業費及び国庫補助額

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込額）
事業費	187,616千円	111,184千円	478,000千円※
国庫補助額 （要望額）	93,808千円 （155,790千円）	55,592千円 （165,750千円）	【要望額】 【239,000千円※】

※防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策（事業費150,000千円、国庫補助額75,000千円）を含む

### 【本件に関する連絡先】

建設局 土木監理課長 林 寛 (TEL:072-228-7416)